

作業時には必ず、手袋・マスクを着用し、換気の良い場所で作業してください。

特殊フィルムを水の圧力を利用して3次元局面をもった製品に簡単に転写!

**簡単
転写**

ミニカラースキーム デラックスキット



セット内容 ①水槽1個、②スプレー缶5本 下塗色3色 (ブラック・ブラウン・ライトグレー)、カラーコンビネーションAスプレー1、つや出し保護クリアースプレー1)、③カースタイリング5個、④下塗色見本帳1冊⑤デザインフィルム見本帳1冊⑥デザインフィルム (500mm×3m) 3種 (カーボン・タマモク・ブラック)、⑦マスク1枚、⑧手袋1セット、⑨温度計1個

製品番号	商品名	単位
698-4974-1	ミニカラースキーム デラックスキット	1セット

取り扱い説明書

各種プラスチック素材と対応塗装一覧表

素材名	脱脂剤	適応下地塗料	適応上塗塗料	溶解性	耐熱性	備考
ABS (アクリル樹脂)	IPA		ラッカー系 速乾ウレタン系	△	△	市場で一番多い
PMMA (アクリル)	IPA		ラッカー系 速乾ウレタン系	△	△	市場で一番多い
★PC (ポリカーボネート)	IPA	弱溶剤性塗料	ラッカー系 速乾ウレタン系	×	△	高速遮音壁 ヘッドライトカバー
★PVC (塩化ビニール)	一般脱脂剤	ラッカー系アサフ 速乾ウレタン系アサフ	ラッカー系 ウレタン系	△	△	硬質 軟質
★PA (ポリアミド、ナイロン)	一般脱脂剤	ラッカー系アサフ 速乾ウレタン系アサフ	ラッカー系 ウレタン系	○	○	自転車部品外
★PP (ポリプロピレン)	一般脱脂剤	PP用プライマー	ラッカー系 ウレタン系	○	△	PPプライマー スプレー有り
PS (ポリスチレン)	IPA		PS用塗料	×	×	家電に多い
★PUR (ウレタン)	一般脱脂剤	PP、ウレタン用 共通プライマー	ラッカー系 ウレタン系	△	○	
★UP (FRP)	一般脱脂剤	ウレタン系	ウレタン系	○	○	不飽和 ポリエステル
★EP (エポキシ)	一般脱脂剤	エポキシ、ウレタン系	エポキシ ウレタン系	○	○	

★印は必ず適応下地塗料による下地塗装をほどこして下さい。

★印の下地塗料 (キット内色以外) は別売となっていますので、本キットご購入元にご相談下さい。

※ラッカー系の場合、本キット内の下塗色が使用できます。

※上記一覧表は標準的な素材に対するもので、ご使用の場合は十分ご確認ください。

※上記一覧表以外にPPO (ノリル)、MF (メラミン)、PET (ポリエチレンテレフタレート) 等多数品種がありますので不明の場合は、メーカーに確認して下さい。

※一度に厚塗りするとクラックが発生しますので何回かに分けて薄く塗り重ねる様にして下さい。

※耐熱性に弱い素材は低温 (50℃以下) で乾燥して下さい。

※IPA…アルコール系 脱脂剤

◎自動車に使用されている樹脂は、ABS、PP (一部PC) が90%以上占めています。

注意事項 下地塗料に2液塗料をご使用の場合、塗装後 (常乾) 5時間以内に転写して下さい。

各種金属素材と対応塗装一覧表

素材名	脱脂剤	適応下地塗料	適応上塗塗料	備考
★鉄 (スチール)	ラッカー系シンナー 一般脱脂剤	ラッカー系 ウレタン系、その他	ラッカー系 ウレタン系、その他	鍍金銅板 磨き銅板
★AL (アルミ)	ラッカー系シンナー 一般脱脂剤	表面処理 エキソボ系下地	ウレタン系外	
★SUS (ステンレス)	ラッカー系シンナー 一般脱脂剤	表面処理 エキソボ系下地	ウレタン系外	
★各種 ダイキャスト	ラッカー系シンナー 一般脱脂剤	表面処理 エキソボ系下地	ウレタン系外	アルミ 亜鉛

※上記以外の非鉄金属 (真鍮、銅等) の場合は素材メーカーにご確認ください。

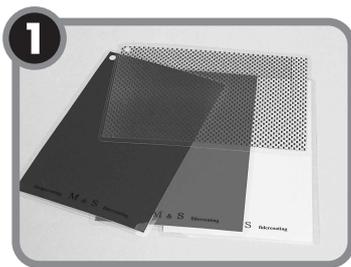
注意事項

1. フィルムの耐熱性は120℃遠となっている為、焼付塗装 (乾燥温度130℃～) の保護クリアーは避けてください。
2. 下地塗料に2液塗料をご使用の場合、塗装後 (常乾) 5時間以内に転写して下さい。
3. 使用する部材が耐油性、耐酸性等要求される場合は適正塗料が変わりますのでご注意ください。

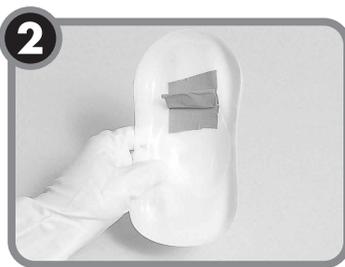
特殊フィルムを水の圧力を利用して3次元局面をもった製品に簡単に転写!

セット内CDと併用ください。

作業時には必ず、手袋・マスクを着用し、換気の良い場所で作業してください。



1 まず、下塗見本帳とデザインフィルム見本帳を使い、仕上がりイメージを決定します。あなただけの、下塗とデザインフィルムのベストコンビネーションをお選びください。



2 画面ではセット内にあるカースタイリングを使用します。転写面を考慮して、ガムテープなどで取手を付けておきます。



3 決定した下塗を塗布します。画面ではブラウンを使用します。



4 素材に、決定した下塗色をスプレーし、乾燥させます。

(ラッカー系塗料のため作業時には必ず、手袋・マスクを着用し、換気のよい場所で作業してください。)



5 つぎにデザインフィルムの決定をします。画面ではタマモクを使用します。



6 付属の水槽に体温に近い30~35℃の温水を入れます。水温は温度計でご確認ください。



7 デザインフィルムを315×215mmにカットします。水槽より極端に小さくならず水槽の中でデザインフィルムが伸び広がり希望の柄になりません。フィルムには表裏がありますので、フィルムの端を、濡らした指先でつまみ、確認してください。粘着性のある面を水面に着けます。



8 フィルムと水面との間に空気が入らないように、ゆっくりフィルムを水槽に浮かべます。

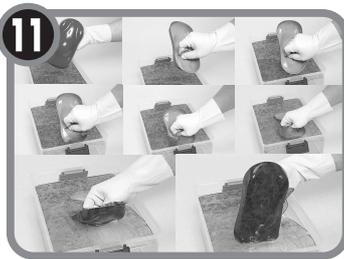


9 フィルムを水槽に浮かべたら約2分間待ちます。キッチンタイマーなどで正確な時間をご確認ください。

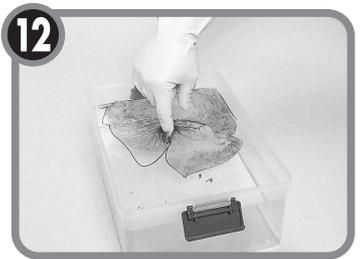


10 水槽に浮かんでいるデザインフィルムにカラーコンビネーションAを約30cm離して、全体にむらなく、一度でスプレーします。すぐにフィルムが水溶化してきます。

(作業時には必ず、手袋・マスクを着用し、換気のよい場所で作業してください。)



11 カラーコンビネーションAをスプレーしたのち、フィルムが溶けたのを確認し、5秒~10秒以内に、転写面を水面に対して45度位の角度でくぐらせます。



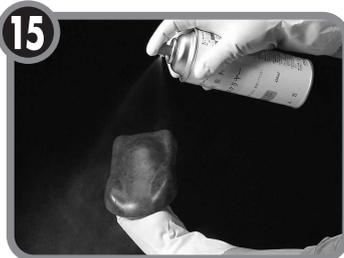
12 続けて作業される場合は、2~3分待ち、水槽に残っている固まったフィルムを引き上げると簡単に取り除けます。



13 45度の角度でくぐらせた後引き上げ、指先で軽く転写面の目立たない部分で模様が定着したのを確認したら、シャワーで表面のヌメリをきれいに洗い流します。ヌメリをしっかり取ることでつや出し保護クリヤーが定着しやすくなり、美しい仕上がりになります。シャワーは最初弱めにし、そのあと徐々に通常の水量で洗い流します。



14 つぎに、転写面の水分をすべてエアダスターガン又はヘアドライヤーの冷風で飛ばします。この時、ヘアドライヤーの場合、必ず冷風で乾かします。温風で急激に乾燥させますと、転写面に不要な乾燥あとが残ります。



15 表面保護として、必ずつや出し保護クリヤーを転写面全体に均一にスプレーします。

(作業時には必ず、手袋・マスクを着用し、換気のよい場所で作業してください。)

十分乾燥したら完成です。



注意事項

- ※各セット内容は、このミニカラスキーム以外には使用しないで下さい。
- ※転写物が非鉄金属等の場合、又は、PP,PS等の場合は下塗工程が変わりますのでご購入元にご相談の上施工して下さい。
- ※エアゾール類は有機溶剤を使用していますので屋外にて使用してください。
- ※エアゾール類は危険物ですので火気厳禁です。また人に向かって噴射しないで下さい。
- ※デザインフィルムは多湿度保管致しますと使用できなくなりますので注意して下さい。

HPでは取扱い方法を動画にて詳しくご説明しております。

URL <http://www.shinyusan.com/>

製品についてのお問い合わせは・・・

TEL (06) 6886-1722